

「個別の指導計画」を活用して 子どもたちへの支援の充実をさらに進めてみませんか？

これまで別府教育事務所管内の多くの学校で、実態に即した「個別の指導計画」の作成、活用の推進を行ってきました。園・学校において、特に通常学級における子どもたちや教員の困りは年々深刻になってきています。そのような困りの軽減・解消には、個々の指導のポイントを絞り、最適な支援を教師間で共通理解して継続的に行うことが大切です。そのために作成されるのが「個別の指導計画」であり、令和7年度もその進捗状況を把握し、作成、活用の支援に努めていきます。

南石垣支援学校 教諭 古長 俊亜（こちょう としあ）

横浜国立大学特殊教育教員養成課程を卒業ののち、大分県内の小学校、特別支援学校に勤務。「特別支援教育コーディネーター」として、別府市の小中学校、大分市の幼保、小中学校、高校へも教育相談にも赴きました。

コーディネーター歴は合わせて10年になり、毎年、年間あたり200～500件の相談を受けていました。『発達障がい』等の診断がある無しにかかわらず、先生方の悩みに答えながら、幼児・児童生徒・保護者の困りに対する支援のお手伝いをしてきました。

令和3年度からは「個別の指導計画」推進教員（本年度で5年目）として、別府教育事務所管内の幼稚園、小・中・義務教育学校等が、通常学級（通級指導教室を含む）在籍の幼児・児童生徒に対する『個別の指導計画』を作成し、有効に活用するためのお手伝いをしています。作成・活用のお手伝いのみならず、学習面、生活面で困りをおかしている幼児・児童生徒への指導法や保護者への対応等、園・学校等が困っていることや様々な相談も承っております。

令和6年度 実績

相談訪問 約100件

- ・管内小・中・義務教育学校（全校）、幼稚園・保育所等（一部）へ訪問
- ・学校からの相談内容に応じた訪問

研修講師 約50件

- ・校内研修
- ・支援員研修、地域別エリアコーディネーター研修

特別支援教育の視点からの授業改善に関する講演
Q&A座談会形式の研修も好評です！

夏季休業中の研修
受付期間：6月2日から20日まで
詳細は、後日お知らせします！

